

入試における主体性等評価の意義と課題 ～大阪大学の取組をもとに～

第6回大学入学者選抜における多面的評価の在り方に関する有識者会議

川嶋太津夫

大阪大学

高等教育・入試研究開発センター

Center for the Study of Higher Education & Global Admissions

アウトライン

- 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」& 「主体性等」
- 多面的・総合的な入学者選抜の難しさ
- 大阪大学における多面的・総合的評価による入学者選抜実現に向けての研究開発の紹介
- 調査書から分かること
- 多面的・総合的評価とは・・・？

「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」&「主体性等」

「学校教育法」

第四章 小学校

(平一九法九六・旧第二章繰下)

第二十九条 小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。

(平一九法九六・旧第十七条繰下・一部改正)

第三十条 小学校における教育は、前条に規定する目的を実現するために必要な程度において第二十一条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、**基礎的な知識及び技能**を習得させるとともに、**これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を**養うことに、特に意を用いなければならない。

中学校、高等学校に準用

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」H28.12.12

- ①「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「**知識・技能**」の習得)」
- 各教科等において習得する知識や技能であるが、個別の事実的な知識のみを指すものではなく、それらが相互に関連付けられ、さらに社会の中で生きて働く知識となる
- ②「理解していること・できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「**思考力・判断力・表現力等**」の育成)」
- 将来の予測が困難な社会の中でも、未来を切り拓ひらいていくために必要な思考力・判断力・表現力等である。**思考・判断・表現**の過程には、大きく分類して以下の三つがあると考えられる。
- 物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程
- 精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によって表現したり、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりしていく過程
- 思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく過程

探究活動

- ③「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力・人間性等**」の涵養)」
- 前述の①及び②の資質・能力を、どのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素であり、以下のような**情意や態度等**に関わるものが含まれる。こうした情意や態度等を育てていくためには、体験活動も含め、社会や世界との関わりの中で、学んだことの意義を実感できるような学習活動を充実させていくことが重要となる。

主体的に学習に取り組む**態度**も含めた**学びに向かう力**や、自己の感情や行動を統制する**能力**、自らの思考の過程等を客観的に捉える**力**など、いわゆる「メタ認知」に関するもの。一人一人が幸福な人生を自ら創り出していくためには、情意面や態度面について、自己の感情や行動を統制する**力**や、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する**態度**等を育むことが求められる。こうした力は、将来における社会的な不適応を予防し保護要因を高め、社会を生き抜く力につながるという観点からも重要である。

多様性を尊重する**態度**と互いのよさを生かして協働する**力**、持続可能な社会づくりに向けた**態度**、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど、**人間性等**に関するもの。

主体性等の多元性(能力と資質の混在※)

- 主体的に学習に取り組む**態度**も含めた学びに向かう**力**
- 自己の感情や行動を統制する**能力**
- 自らの思考の過程等を客観的に捉える**力**
- よりよい生活や人間関係を自主的に形成する**態度**
- 多様性を尊重する**態度**
- 協働する**力**
- 持続可能な社会づくりに向けた**態度**
- **リーダーシップ**や**チームワーク**
- 感性、優しさや思いやりなど、**人間性**

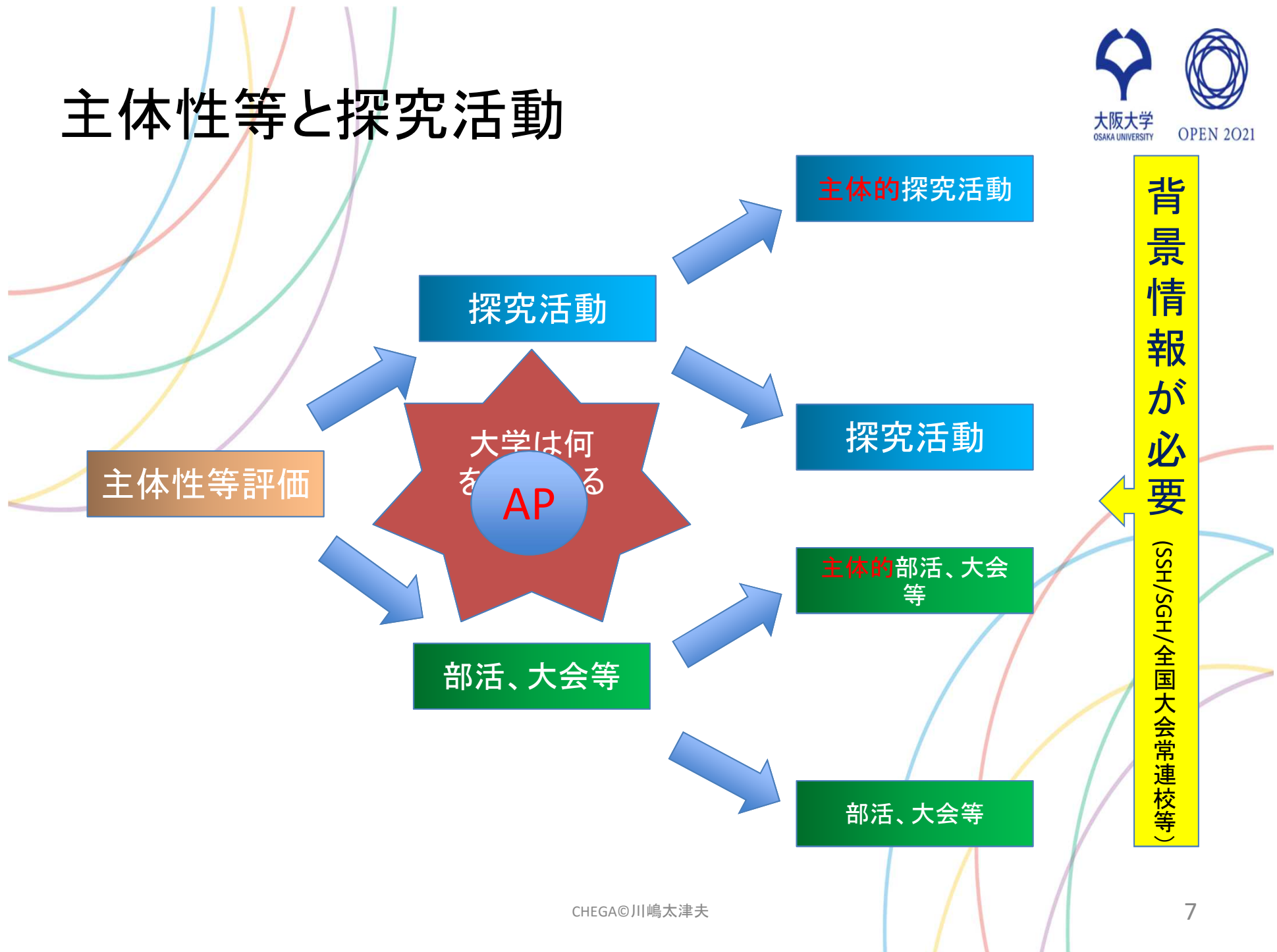
能力: 客観的な評価が可能(できる、できない)

資質: 客観的な評価が難しい

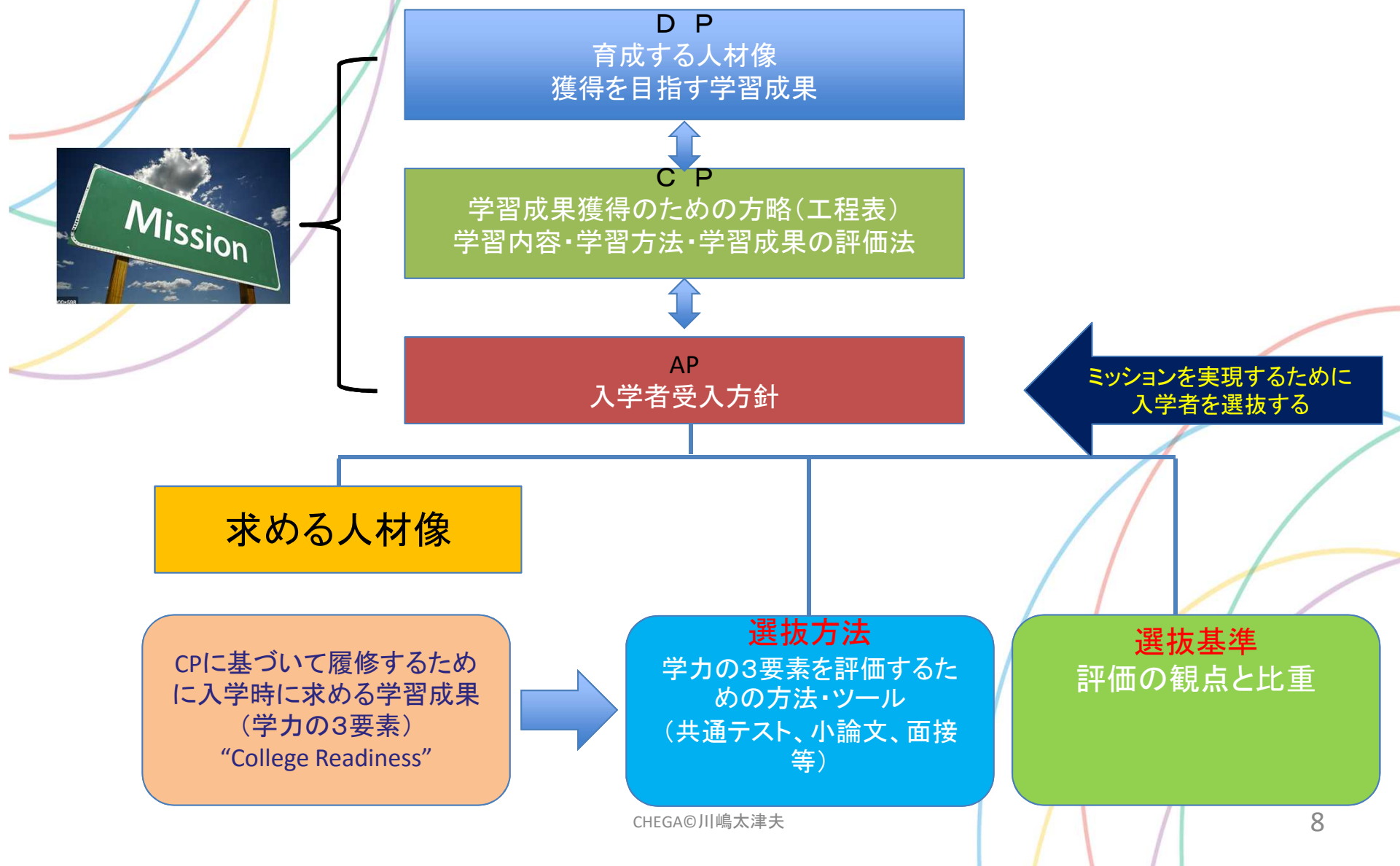
※「一般に**能力**は、教育や環境などの後天的要因と素質的・生得的要因の複合の結果、個人の中に形成されるものである。これに対して、生得的素質によって規定されている個人の潜在的可能性を性能または**資質**capacityという」

『世界大百科事典第2版』平凡社

主体性等と探究活動

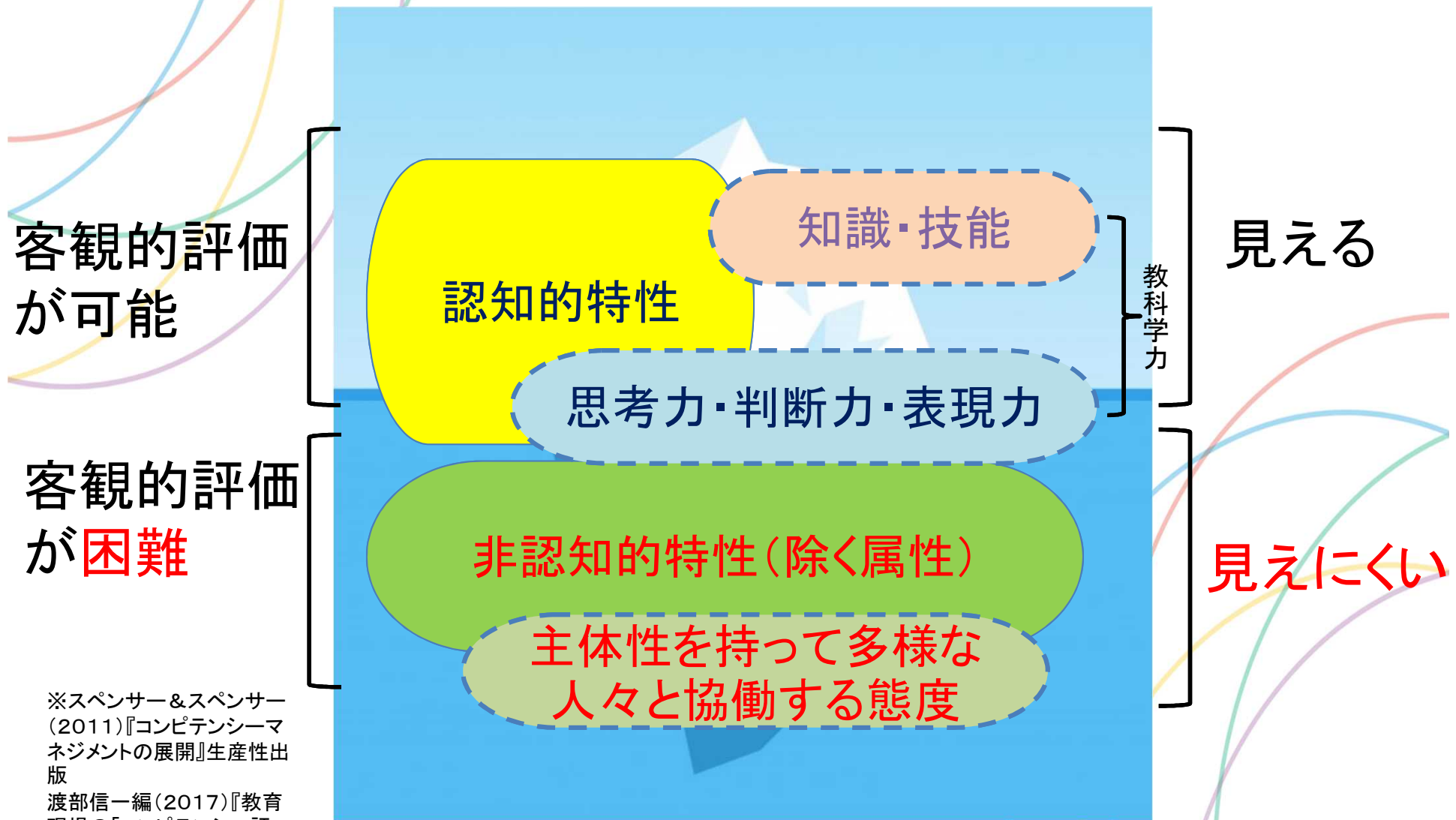


入学者選抜の原則



多面的・総合的な入学者選抜の難しさ

コンピテンシーの「冰山モデル」※



※スペンサー&スペンサー
(2011)『コンピテンシーマ
ネジメントの展開』生産性出
版
渡部信一編(2017)『教育
現場の「コンピテンシー評
価」ナカニシヤ出版

学力の3要素と入試方式（現行）



志願者の「全体」を評価

大学のミッションと
アドミッション・ポリシー



知識・技能

思考力・判断力・表現力

関心・態度・価値観・
意欲・経験・属性

認知的特性

非認知的特性

多面的・総合的評価

一般選抜
総合型選抜
学校推薦型選抜

評価のScience & Art

<見える能力の評価(Science)>

- 調査書(評定、評定平均)
- 大学入学共通テスト得点
- 個別学力試験得点
- 英語4技能検定・資格試験成績

数字を読む

客観的



一般選抜で可能か？



<見えにくい資質等の評価(Art)>

- 志望理由書
- 活動報告書
- 推薦書
- 調査書(所見欄)
- 面接

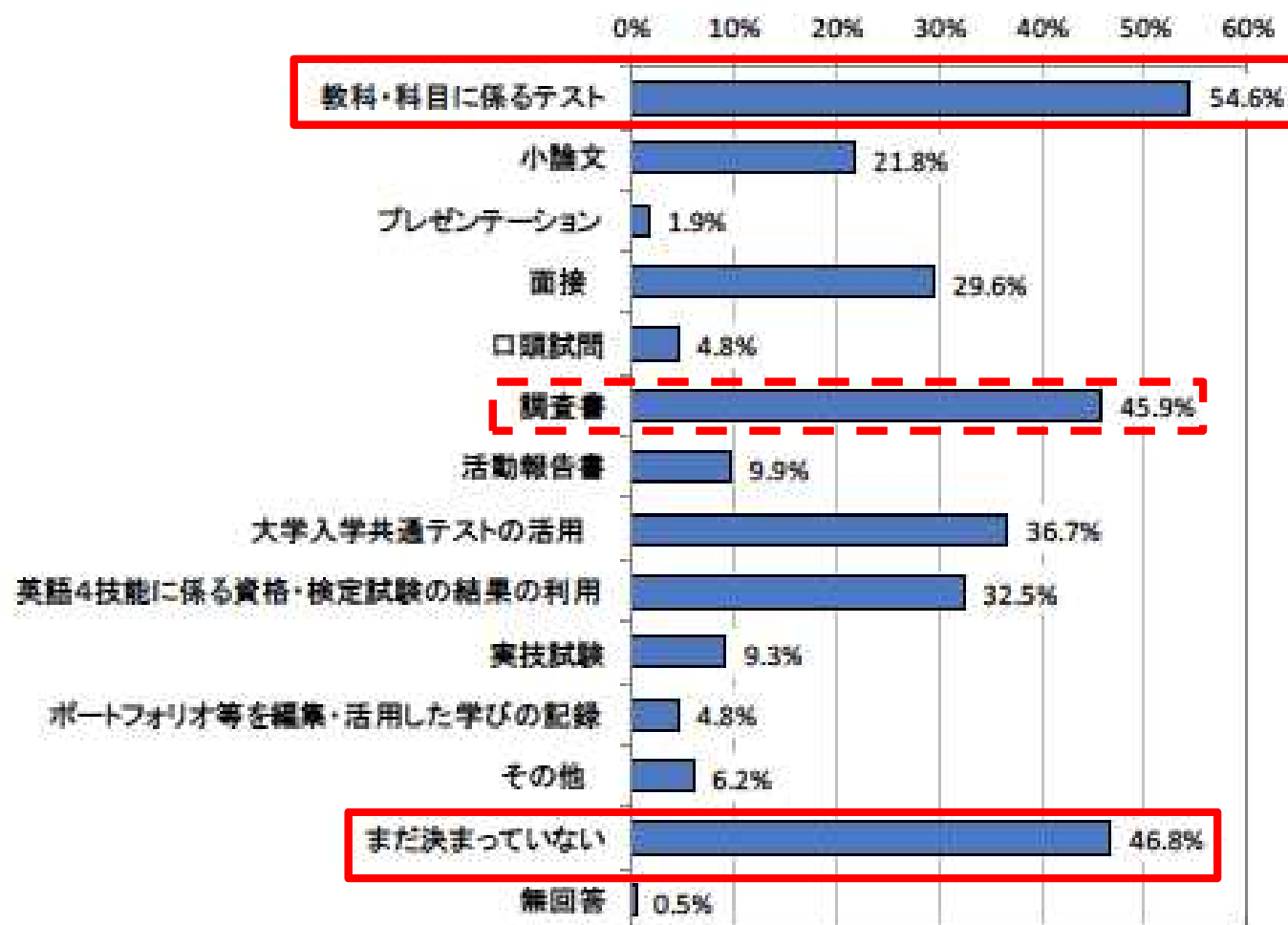
声を聴く

主観的



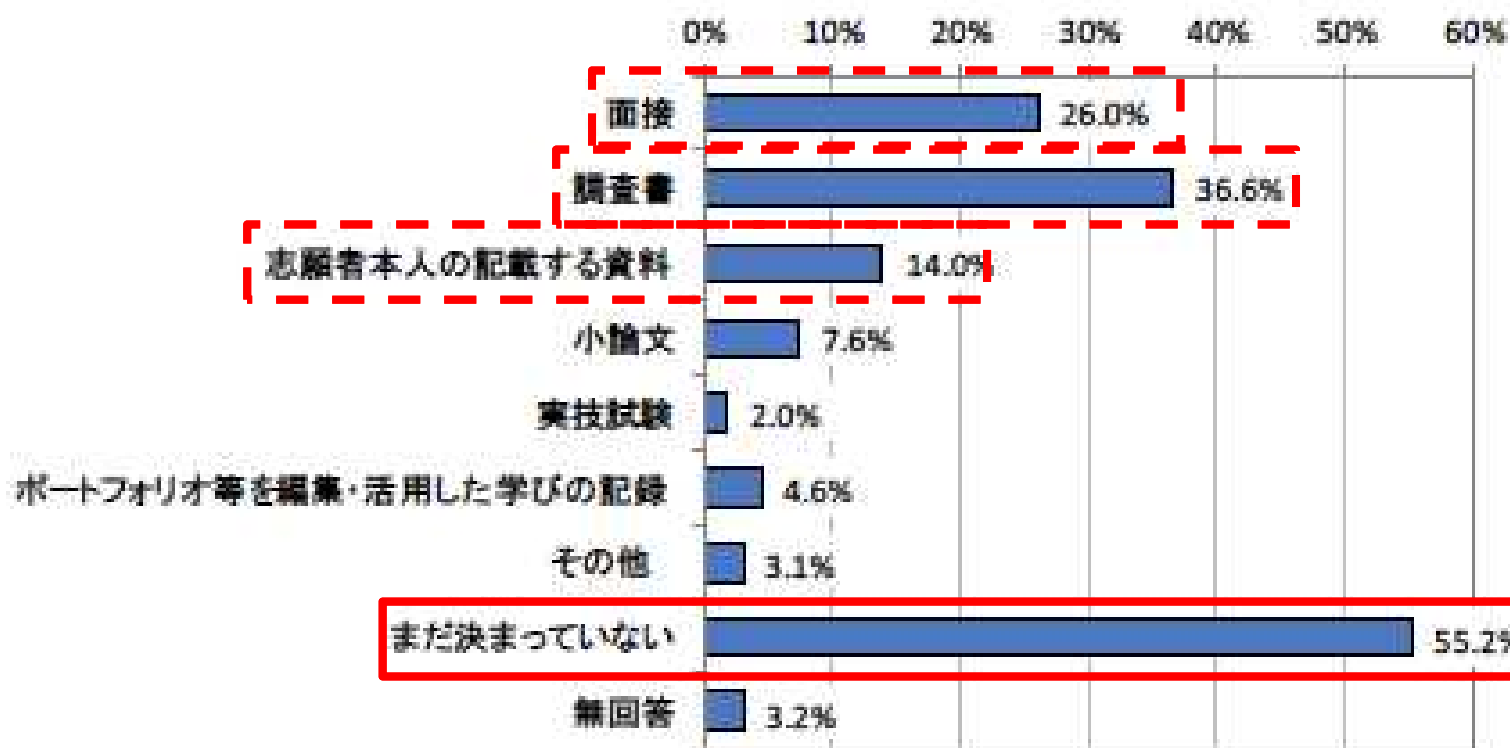
一般選抜の評価方法

図 2-56 評価方法の内容：一般入試（複数回答）（全体）（n=964）



一般選抜における「主体性等」評価

図 2-91 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価方法：一般入試
(複数回答) (n=964)



大阪大学における多面的・総合的評価による 入学者選抜実現に向けての研究開発の紹介

多面的・総合的な評価への転換を図る入学者選抜改善システム構築(H28～R3年度)

現状と課題

アドミッション・ポリシー

- ・ 形式的で、AP-CP-DPの整合性が欠如
- ・ APの妥当性を検証し、改善につなげる汎用的モデル・アルゴリズムが存在しない

高校教育

- ・ 多様化の進展
- ・ 「質保証」が不十分
- ・ 多様な高校教育を理解するための包括的な情報基盤が不在

個別入試

- ・ 「(基礎)学力不問」と「暗記学力重視」に二極化
- ・ 多面的・総合的な評価法が未整備
- ・ 専門的職員(アドミッション・オフィサー)の育成

大学への出願

- ・ 紙ベース、郵送が基本
- ・ 大学によって様式、項目等が異なり統一化されていない
- ・ 証拠となる情報(検定・資格・実績等)の確認が煩雑

解決への道筋

評価法・モデルの開発

- ・ 多面的・総合的な評価法の開発
- ・ アドミッション・ポリシーの妥当性を検証し、入学者選抜を改善するアルゴリズム開発

専門的職員の育成

- ・ 入学者選抜業務を専門的に担う人材の育成、そのための育成プログラムの開発、公開

高校ポートレートの構築

- ・ 多様な高校、高校教育、高校生の学習を、公正、客観的に評価するための包括的なデータベースの構築

eP型出願システム開発

- ・ 国内、国外を問わず円滑に出願が可能で、かつ、高校情報や生徒の学習成果を確認できる「eポートフォリオ型」のWEB出願システムの開発・運用

- ・ 志望理由書
- ・ 探求課題報告書
- ・ 資格等証明書
- ・ 推薦書

出願

e-Portfolio型
WEB出願システム
開発

活用



活用

分析・検証・改善

専門的職員育成

分析・検証・改善

要望

分析情報提供

クロス
アポイントメント

相互交流

オレゴン大学
AAC&U

ソウル国立大学
(アドミッション・オフィス)

相互交流

分析・検証・改善

専門的職員育成

分析・検証・改善

要望

分析情報提供

クロス
アポイントメント

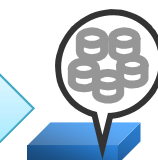
相互交流

オレゴン大学
AAC&U

ソウル国立大学
(アドミッション・オフィス)

相互交流

データ提供



分析・検証・改善

専門的職員育成

分析・検証・改善

要望

分析情報提供

クロス
アポイントメント

相互交流

オレゴン大学
AAC&U

ソウル国立大学
(アドミッション・オフィス)

相互交流

分析・検証・改善

専門的職員育成

分析・検証・改善

要望

分析情報提供

クロス
アポイントメント

相互交流

オレゴン大学
AAC&U

ソウル国立大学
(アドミッション・オフィス)

相互交流

分析・検証・改善

専門的職員育成

分析・検証・改善

要望

高校等

高校ポートレート構築

- ・ 多面的・総合的な評価法の開発
- ・ 専門的職員(アドミッション・オフィサー)の育成

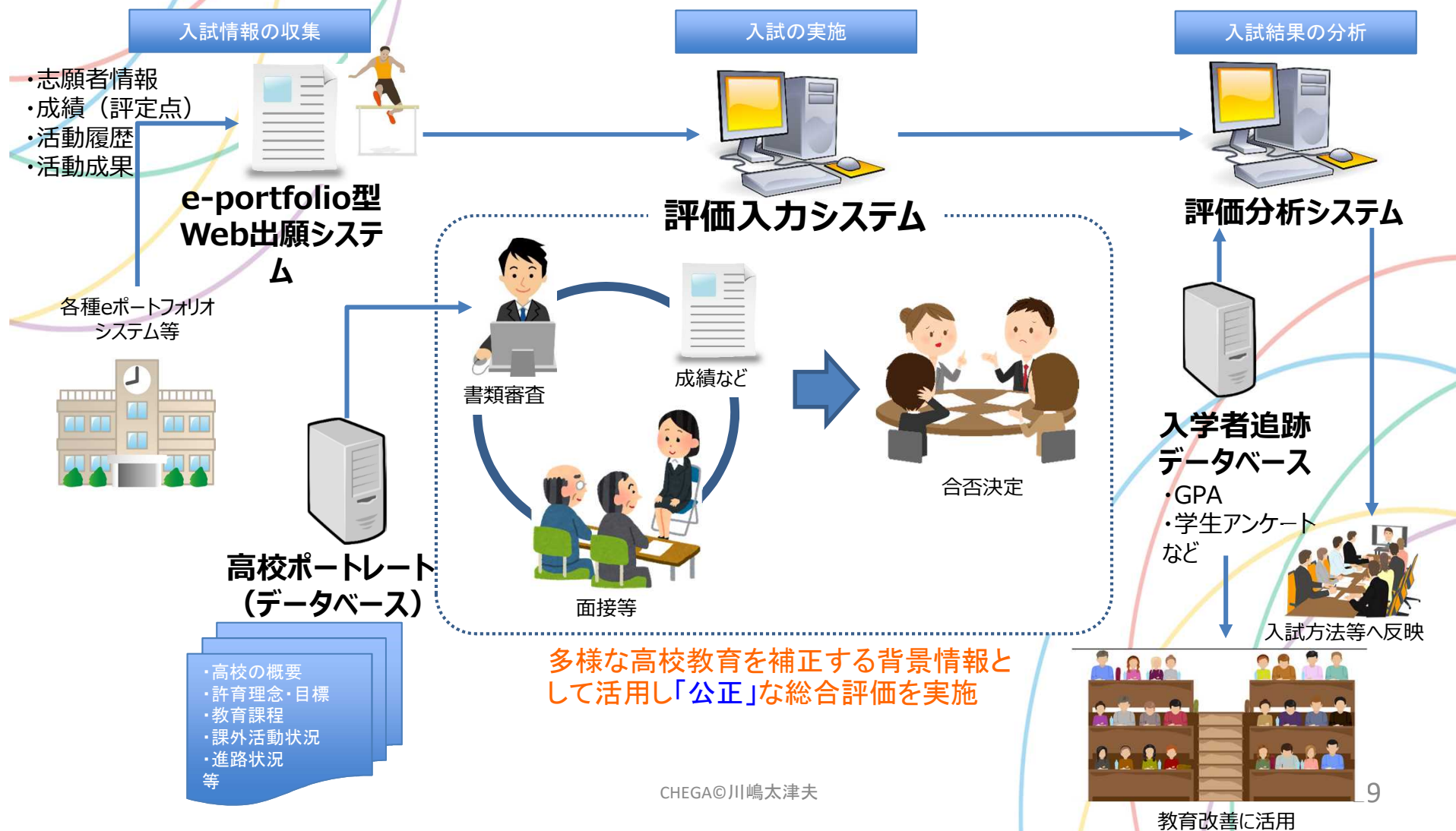
CHEGA © 川嶋太津夫

高大接続
システムの構築・
改善に寄与
他大学への提供

Handai Admission Officer(HAO) 育成プログラムの様子



入試を支える情報基盤システムの設計



評価の観点・基準(例)

基礎学力 50点	適性30点			学習意欲 20点
	教養 10点	デザイン力 10点	国際性 10点	
<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の観点から見て学部で修学するにあたり必要な基礎学力や知識を有している ・物事の本質を見極めることができる ・問題解決のために知識を活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識を有している ・広い視野に立ち柔軟に思考することができる ・俯瞰的に思考し、客観的に評価ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を発見することができる ・自由に発想することができる ・解決の道筋をつくることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の文化を理解できる ・異なる文化を理解できる ・文化を超えて交流できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状態に満足せず、よりすぐれたもの、より高いものを目ざして努力する気持ちがある ・物事の意義・本質などをさぐって見きわめようとする気持ちがある ・自己の行為の目的についての明確な自覚をもっている



志願者評価システム
System for Agile Admission&Evaluation

評価者モード

高等教育学部入試研究学科すべて



井ノ上 憲司

2021

基本情報

必:志望理由書

必:推薦書

必:願書

必:卒業・成績証明

必:日本語能力証明書

任意:2

1 / 2

幅に合わせる

あなたがこれまでの人生で達成したこと、誇りとしていることなどを踏まえて、本学を志望する理由を記入してください。なお、1600字以内とし、文末に必ず文字数を記入してください。

私は将来ライフサイエンスの研究者となって、世界の人々に貢献したいと考えています。子供のころから自然科学や実験に興味を持っていましたが、強く自らの進路を考えるようになったのは、SSHでの自主研究がきっかけです。そこで私は小さなミドリムシがヨーグルト化の反応を促進し、目に見えるような大きな変化を生み出しているというこの不思議さに魅了され、ミクロな世界での反応が人体や生活に大きな影響を与えることに興味を持ちました。また、世界で誰もメカニズムを知らない現象の一端を解明することで、研究の醍醐味でもある、未知を探索することの面白さを感じることができました。思うように結果が出ず、苦しい思いをしたことも多々ありました。しかし、試行錯誤しながらその壁を乗り越えたときの喜びや嬉しさは何物にも代えがたいものでありました。貴学科では、遺伝子やタンパク質をはじめとする生物学の各分野の講義や実験を通して、ミクロな世界での反応について深く学び、最先端の最先端の基礎となる研究に携わってみたいと考えています。

また、SSHでの自主研究によって、国内外の様々な発表の場にも恵まれました。特に、海外での発表は、母語の異なる人々との英語での意見交換の楽しさを感じました。英語で科学的な内容について議論することは日本語での議論よりもはるかに難しく、正しく理解してもらえずにもしどかしい思いをすることも多々ありました。しかし、聞き手に納得してもらえるように説明ができたときは、英語でコミュニケーションができた喜びとともに、海外の人にも自らの研究を知ってもらえたことで、自身の研究に対する自信や誇りを抱くことができました。貴学部のオープンプログラムには、早い段階からの自主研究やその発表を通して、研究の面白さを早くから感じることができることに魅力を感じています。高校よりも良い環境で自主研究ができるので、より充実した内容の研究ができると期待しています。また、研究室に入り実際の研究者の指導を受けることで、研究に必要な技術をより早くから身に付けることができ、自らも研究者としての第一歩を踏み出すことができると考えています。

貴学が総合大学であるというのも貴学を志望する理由として挙げられます。貴学には多種多様な学問を専門とする先生方や学生がいるので、自らの専門のほかに様々な興味のある分野の講義

1次 - 書類審査[1001]の評価入力
9900001-河村 小雪

基礎学力(0~50)



教養(0~10)



デザイン力(0~10)



国際性(0~10)



学習意欲(0~20)



所見

保存する



一覧へ戻る

評価入力システム「評価者画面」(例)

ダッシュボード

評価の実施

提出書類

面接

小論文

ログアウト

評価者モード

文学部人文学科

井ノ上 恵司

評価の実施 (対象者一覧) - 提出書類[26]

下に割当てされた志願者の一覧を表示しています。[受験番号]をクリックして、評価を入力してください。
センター試験利用点(C1次,C2次)は使用可能な場合のみ表示されます。太字は「合計点」です(圧縮している場合もあります)。
表を並び変える場合は、▲▼を押してください。複数列の並び替えは、Shiftを押しながらクリックしてください。

入力期間: 17/11/18(土)00:00 ~ 17/11/25(土)00:00 / 閲覧期限: 17/11/25(土)00:00

25 ▼ 行ずつ表示する
 表示フィルタ:

受験番号 ▲	志願者名 ▲	C2次 ⇅	E人物 (0~30) ⇅	E研究内容 (0~30) ⇅	Eコミュニケーション (A=40,B=20,C=0) ⇅	Tカテゴリ合計 (0~100) ⇅	T総合的点数 (0~90) ⇅	T基礎点 (10) ⇅	T総合合計点 (0~100) ⇅	T備考 ⇅
300001	非表示	-	10	18	A=40	68	89	10	83.5	ああ
300002	非表示	-			A=40	40	88	10	69	あああああ
300003	非表示	-	10	14	A=40	64	80	10	77	いいいいいいいい
300004	非表示	-	20	8	A=40					
300025	非表示	-				0		10	5	
	列平均/列合計		14 70	15.4 77	A=6 B=0 C=0	6.7894 387	69.33 416	10 570	12.04 686.5	4件

評価の入力画面に進む

入力済みの得点を一覧で確認

合計・平均点も確認

高校データベース①

高校データベース

志願者画面に戻る

この画面では、志願者の高校のコース一覧、大学合格状況、過去の志願者のセンター試験結果を元にした成績分布を表示します。
現在、システムは大学合格状況2003校分、成績分布868校分を表示可能です。現在ベータ版を提供中です。

所在都道府県	高校名	設立者	学科・コース	1学年生徒数	全生徒数	難関大	約2000校分 各学校WebページよりC 合格者数
27大阪	なにわ高等学院	私立	データなし	253名	データなし	37名	253名

ダミーサンプル

難関大学合格状況 (2018年度入試結果：2003校分より)

約2000校分
大学通信より

公表されている大学合格者数の中で、表記の大学に限り合格者数を表示しています（地域順）。全合格者の2.5%(7人)を超える大学を太字としています。

国公立大学名	北海道大	東北大	東京大	東京工業大	一橋大	名古屋大	京都大	大阪大	大阪府立大	大阪市立大	神戸大	九州大	難関国公立計	他国公立計
合格者数	1	0	0	0	0	3	5	9	4	5	10	0	37	4

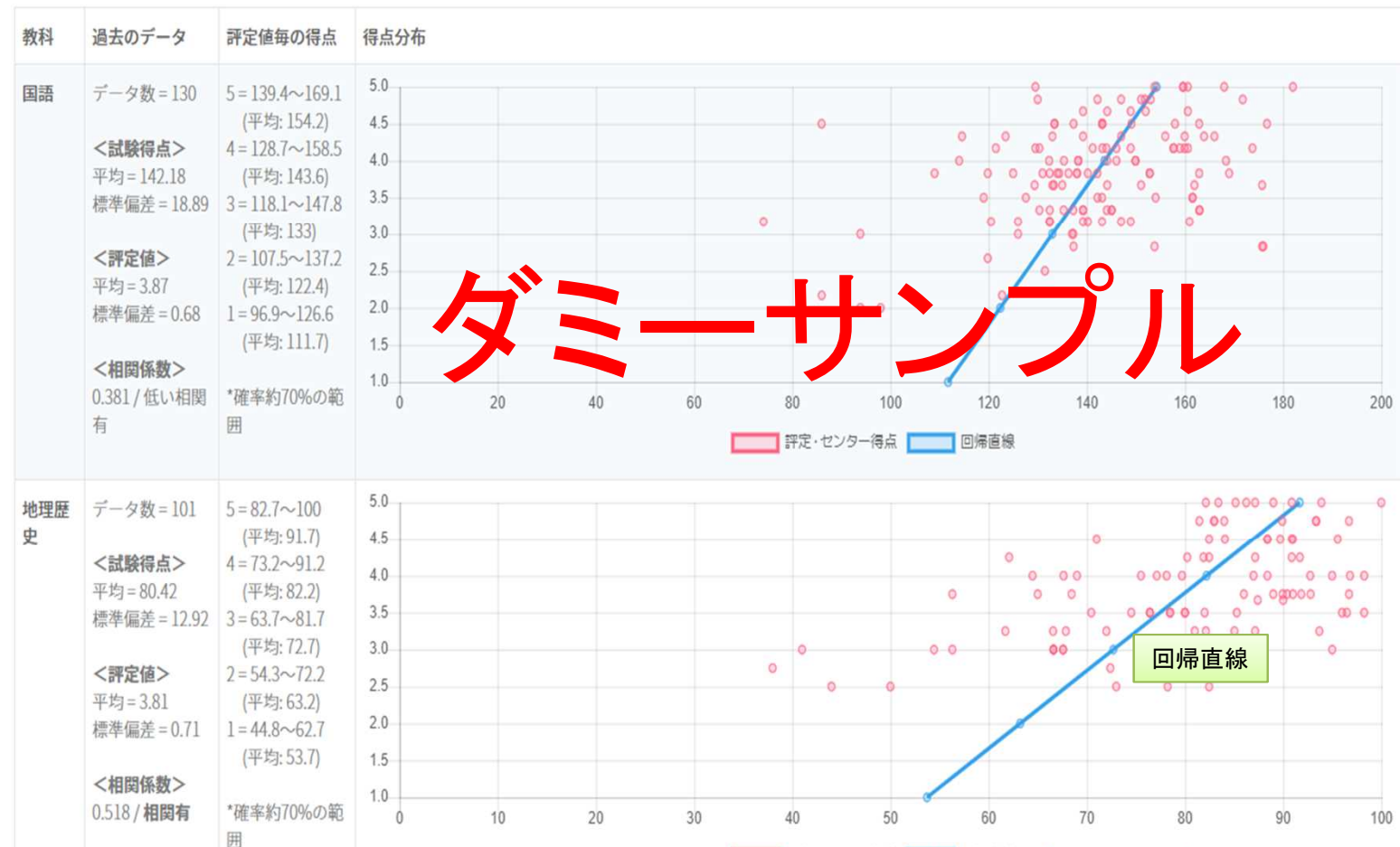
私立大学名	明治大	青山大	東京理科大	中央大	上智大	慶應大	早稲田大	法政大	立教大	関西大	関西学院大	同志社大	立命館大	近畿大	難関私大計
合格者数	4	2	2	1	2	6	9	3	6	46	25	47	50	50	25

高校データベース②

過去のセンター試験結果 (2016~2018年度入試の150名)

各科目の得点は、大学入試センターの公表する得点分布に沿って、2018年度を基準として過年度の得点を補正しています。

本学に提出された調査書過去3年分868校





大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

調査書から分かること

0年度か

新たな調査■における新旧刻圖書のイ・エー・ウ

[illegible]



ADEN 2021

41



(裏)

※		※	※	※
5. 総合的な学習の時間の内容・評価	活動内容	指導要録に合わせて、5、8、9の項目の順番を入れ替え。		
	評価			
6. 特別活動の記	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
7. 自主参画となる取組事項	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
	(1) 学習における特徴等 (4) 取得資格、検定等 (注) 専門座席の時長会や国際調査委員会等が実施する資格・検定の内容、取得スコア・取得時期等	(2) 行動の態度、特性等 (5) 表彰・顕彰等の記録 (注) 各種大会やコンクール等の内容や時期、科学オリンピック等における成績、時期 国際バカロレアなど国際通用性のある大学入学資格試験における成績・時期等	(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6) その他 (注) 生徒が自ら関わってきた諸活動など	
第2学年	(1) 学習における特徴等 (4) 取得資格、検定等	(2) 行動の態度、特性等 (5) 表彰・顕彰等の記録	(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6) その他	
	(注)「調査書記入上の注意事項等について」において、共通の留意事項として記載。			
第3学年	(1) 学習における特徴等 (4) 取得資格、検定等	(2) 行動の態度、特性等 (5) 表彰・顕彰等の記録	(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6) その他	
	(1) 学習における特徴等 (4) 取得資格、検定等	(2) 行動の態度、特性等 (5) 表彰・顕彰等の記録	(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 (6) その他	

生徒一教師という関係性における評価なので「客観的」ではない※

教員による評価

主体性

-1 0 1

リーダーシップ

-1 0 1

探究力

-1 0 1

・調査書の様式について、裏表の両面1枚となっているが、この制限を撤廃し、弾力的に記載できるようにする。



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

OPEN 2021

主体性

-1 0 1

リーダーシップ

-1 0 1

探究力

-1 0 1

・大学が指定する特定の分野（例：保健体育、芸術、家庭、情報等）において、特に優れた学習成果を上げたことを記載させることができる。

教員による評価

9. 出欠の記録

区分	学年	1	2	3	4	区分	学年	1	2	3	4
授業日数						欠席日数					
出席停止・退学等の日数						出席日数					
留学中の授業日数						備考					
出席しなければならない日数											

この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する。

平成 年 月 日

学校名

所在地

校長名

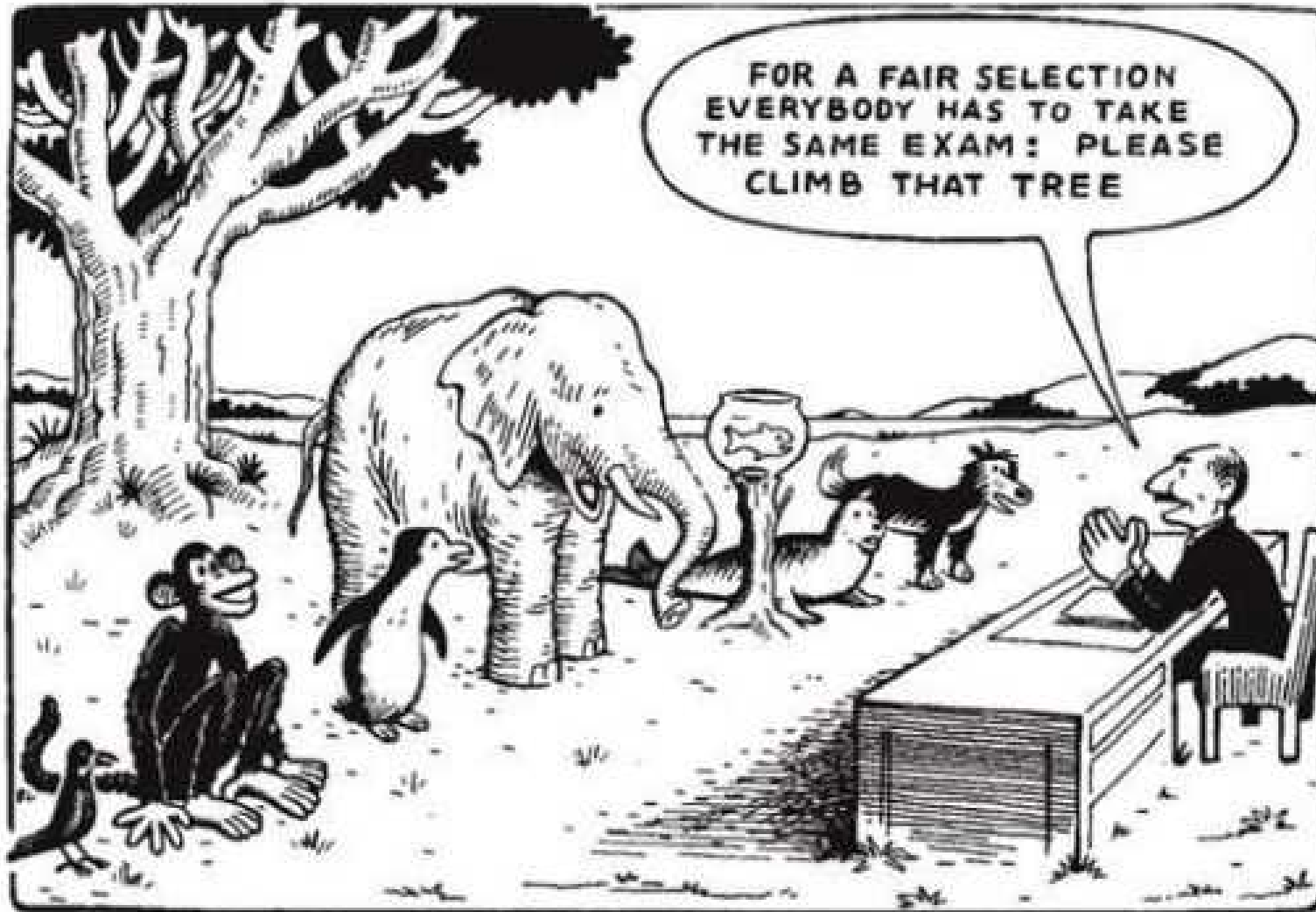


CHEGA©川崎大学



多面的・総合的評価とは・・・？

多面的・総合的入試の哲学(個性と多様性)

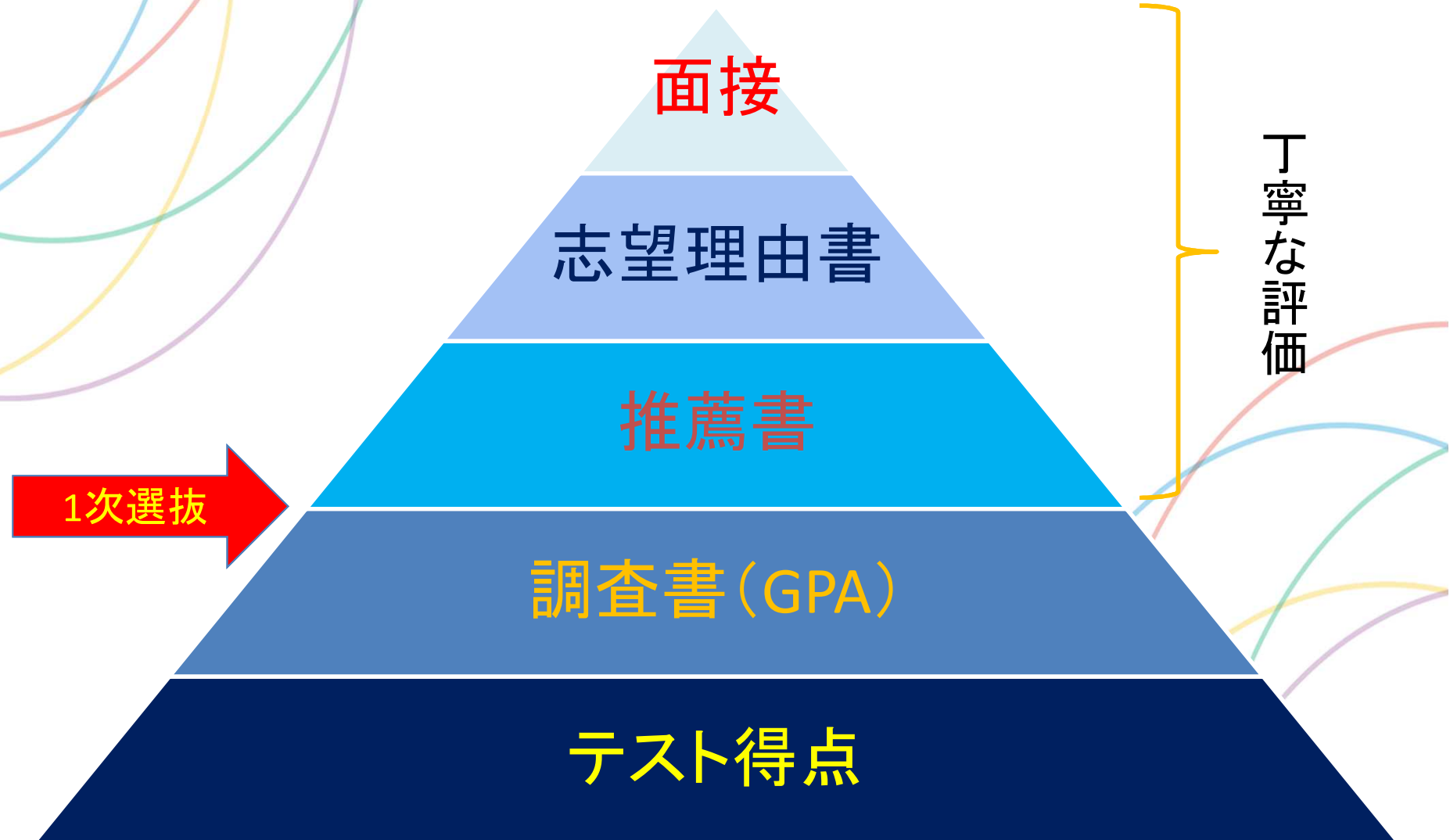


筆記試験は「公平」か？

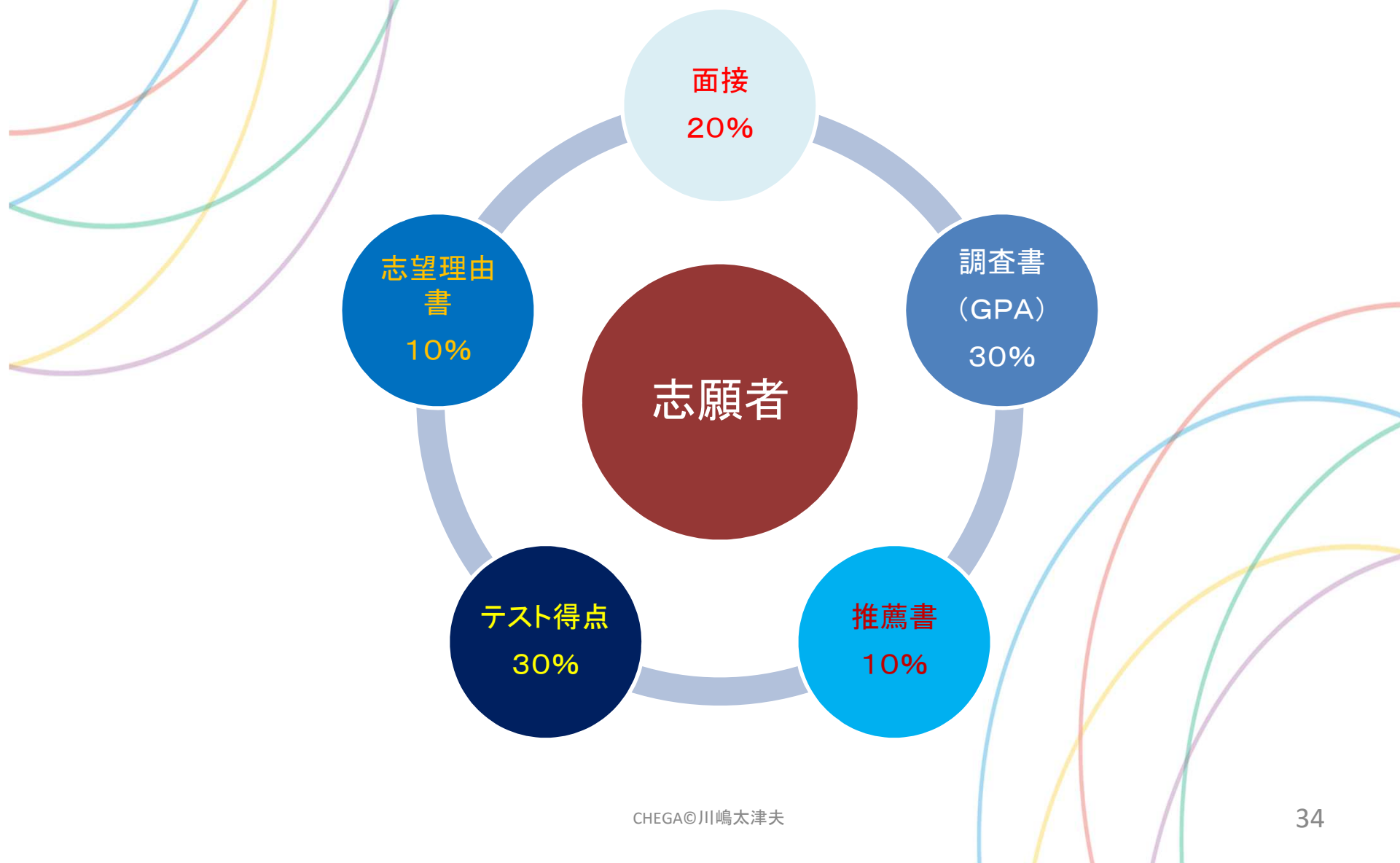


4つの学習スタイル

多面的・総合的評価とは？ ①



多面的・総合的評価とは？ ②



多面的・総合的評価とは？ ③



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



OPEN 2021

合格
Or
不合格



CHEGA©川嶋太津夫

人が人を評価
することの是非

大阪大学 高等教育・入試研究開発センター

「多面的・総合的な評価への転換を図る
入学者選抜改善システム構築」事業

(平成28年度～令和3年度)

中間報告書



「多面的・総合的な評価への転換を図る入学者選抜改善システムの構築(中間報告)」
<https://chega.osaka-u.ac.jp/report/202004142467/>

tatsuo314@chega.osaka-u.ac.jp

ご清聴有難うございました

CHEGA©川嶋太津夫

